

# 地域のこと、見つめ直してみませんか？



### 行動目標5

誰もが地域福祉活動に参加しやすい環境をつくります

けん太くんの住む地域では、年に一度町内会の役員が変わります。「順番だし仕方ないかな」と思いつつ、「誰かが立候補してくれないかな」と期待していた太郎さん。しかし「お願いします」と言われてしまい…。



”  
求められる

”  
参加したくなる工夫

「令和2年度まちづくり市民アンケート調査」の結果では、自分の住む地域の将来を考えたり、地域の課題を解決したりするため、取組に半数以上の市民が社会参加を望み自身の役割を發揮したいと前向きな姿勢であることが分かります。

しかし、「固定化したコミュニティの輪に入りにくい」、「二度関わると他の仕事もお願いされそうで抜けられないかもしれないので不安」といった意見のほか、「声がかからない」、「誘われたい」という声もあり、多様な価値観やライフスタイルに合わせ、参加したくなる工夫や、参加しやすくなる工夫が求められています。



参加や協力の輪を広げるために  
何が出来るだろう？

### 廿日市市の取組事例

## これからの活動への工夫

廿日市市内の各地区では、楽しく筋力アップができる「いきいき百歳体操」が広がりを見せています。

一人ではなかなか続かない運動も、仲間同士や地域とのつながりを通じて楽しく続けられることから参加者が増え、介護予防の効果だけでなく、ちょっと気になる高齢者に気がつき、必要な支援につなぐような機能も發揮されつつありました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、集まることを中止にしなければならないことに。

そのとき、「いきいき百歳体操」の世話人さんたちは、分担して定期的に参加者の人たちに電話やインターフォン越しに、「変わりないですか？」と声をかける活動を日々されていた地区もあったようです。どんな状況でも工夫次第で活動は続けることができます。つながり方は、対面がすべてではないようです。

### 市民一人ひとりで心がけること 身近な人たちと一緒にできること

- ・興味・関心がある取組に、勇気を出して参加してみましょう
- ・自分ができることなど、気軽に地域の居場所に参加し、交流しましょう
- ・参加している人は、楽しさ、やりがいなどを周囲の人に伝えましょう

### 地域全体で取り組むこと

#### » 地区・地域

- ・どんな人に参加してほしいか、担い手像を明確にしましょう
- ・かかわり方のバリエーションを増やしましょう（当日だけ参加、片付けだけ参加など）
- ・参加を呼びかけられる関係性をつくりましょう
- ・若者に将来の担い手として活躍してもらえよう、受け入れ態勢を整えましょう

### 行政が取り組むこと

- ・地域福祉活動への柔軟な参加の仕方を提案します
- ・地域にかかわりが少ない世代のかかわりしろを見出すための裾野拡大の取組を継続して実施します
- ・市職員が地域福祉活動に参加することの意義や価値を共有し、参加を進めます